

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
高齢者心理学		選択	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高田 毅	B301	t.takada	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>高齢期の身体的・心理的特徴や行動特性を理解し、それぞれの臨床に活かせるようになることが目的である。</p> <p><概要>同時双方向授業（遠隔授業）で展開する。前半は地域援助の事例などを用いながら、高齢者の心理的特徴を理解する。また、心理療法としての回想法にも触れる。後半は認知症、戦争トラウマ、高齢者の性といった各論を扱う。Teams のコメント機能を用いた双方向授業を通して理解を深める。</p>				
学習上の助言	<p>Teams 上でコメント、発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。</p> <p>講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。</p> <p>体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。</p>				
教科書	プリントを配布する。				
参考書	<p>高齢者の心理療法 回想法 / 著：黒川由紀子 / 誠信書房</p> <p>認知症と回想法 / 著：黒川由紀子 / 金剛出版</p>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	高齢者の心理・行動特性に関する知識・技能を習得し、自分の専門性に応用できる。			HSU(2)、WP(5)	
②	高齢者に特有の症状に対する基本的知識を身につけ、説明できる。			HSU(4)、WP(5)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。高齢者心理学概論について学ぶ。	同時双方向型授業	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	3	
2	高齢者の心理と課題について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
3	Erikson の老年期における発達課題について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
4	高齢者の地域支援について学ぶ①。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
5	高齢者の地域支援について学ぶ②。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
6	高齢者の震災支援について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
7	高齢者のアセスメントについて学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
8	高齢者の回想法について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
9	高齢者の個人回想法について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
10	高齢者のグループ回想法について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
11	認知症について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
12	認知症の支援について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
13	高齢者の戦争トラウマについて学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
14	高齢者の性について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
15	まとめとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	全体の学びをまとめる。授業後にコメントシートを提出する。	18	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題などから構成される。知識を用いて思考、表現ができているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。				レポートを返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行う。課題ダウンロードなどを行うので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。</p> <p>尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>教員の実務経験：臨床心理士として13年、公認心理師として2年の臨床経験。</p> <p>実践的授業の内容：Teams を用いて、発言やチャットを随時求めながら双方向的に授業を展開する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて具体的なイメージを伝えながら知識を学ぶ。</p> <p>授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。</p>							